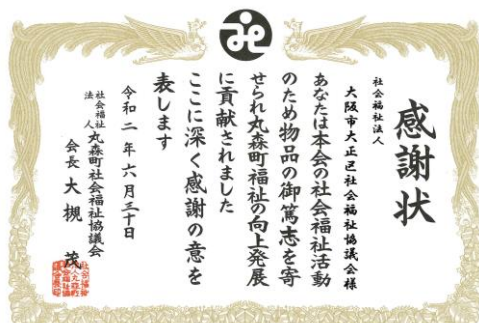


ボランティア・市民活動センター通信

「手しごとの会」(区社協)の活動に感謝状が届きました。



ボランティアグループの「手しごとの会」は、今年の2月に、昨年の台風19号で莫大な被害に見舞われた宮城県丸森町に、手縫いの雑巾100枚を、丸森町社会福祉協議会へ送付されました。

本年7月に丸森町社会福祉協議会から、感謝状が贈られてきました。代表者は「グループとして励みになった」と言われ、コロナ禍の中で、新しい生活様式のもと、手縫いの雑巾づくりを続けています。

ボランティア・市民活動センター、7月1日(水)から一部部屋利用を再開。皆様のご利用、お待ちしております!!

ボランティア・市民活動センターでは、新型コロナウイルスの影響で、4月から部屋利用を休止していましたが、7月1日から、次のとおりの基準で部屋利用を再開しました。7月の利用状況は、4グループが、利用基準に従って利用されました。8月・9月はまだまだ利用できますので、運動や歌の発声練習などでの利用はできませんが、会の運営を話すミーティングなどで、是非ご利用ください。

7月以降の部屋利用基準は次のとおりです。

- ◎常にマスクを着用する。 ◎検温・手指の消毒をする。
 - ◎会話は間近でしない、大きな声でしない。
 - ◎部屋利用人数を守る。 ◎窓を開けて換気をする。
 - ◎熱中症予防のため飲み物は持参し、こまめに水分補給する。(食事は禁止)
 - ◎活動終了後は、使用した机・イスや器具备品等は、消毒して返却する。
 - ◎活動が終了後は、速やかに退館する。
- ※各部屋の定員以内でのミーティングはどのグループも利用可能です。(運動や歌の練習はまだ不可) どうぞご利用ください。

大正区ボランティア・市民活動センター

〒551-0013 大阪市大正区小林西1-14-3 ふれあい福祉センター内
TEL:6555-7575 FAX:6555-0687 (担当:幸田)

「有償支え合い活動“ちょこ助”」に参加登録を!!

当センターでは、令和元年度より有償ボランティア事業を実施しています。
新型コロナウイルス感染症の影響で休止中だからこそ、この活動のことを皆さんにもっと知ってもらうため、この紙面で周知させていただきます。

“ちょこ助”とは、日常生活で「ちょっと困ったな」の声（**利用希望会員**）

※例えば、



掃除をするのが大変!!



買い物をしたいが荷物が…



リビングの絵の位置を変えたいけど…

その声と



私にできる範囲で人助けがしたい!!
(**活動希望会員**)

という声を結びつける活動です。

「**利用希望会員**」と「**活動希望会員**」双方の希望が成立するように調整するのが、私たち「**社会福祉協議会**」の役割です。興味のある方は、**社会福祉協議会**までご連絡ください。お待ちしております。



普通のボランティアと何が違うのか?

“ちょこ助”では、『支援する側』にも『支援してもらう側』にも会員登録ができます。「私はこれができるから助けてもらいたい。でもこれは得意だから誰かを助けられる!」。会員同士がお互いに支え合い、感謝の気持ちを“謝礼”（利用料金：30分300円）にして表すことができる活動です。



※以前に配布したチラシです。ここにもう少し詳しく書いてあります。